

神奈川県立生田高等学校（全日制課程普通科）における
スクール・ポリシー

1 グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

◎ 「不確実で複雑な時代」を生き抜くための「協働」を重視し、協働の前提としての「主体的な意志のある自立した『個』」を育成することを重視します。そうした考えの上に立ち、本校では、卒業までに次の資質・能力を育みます。

☆ 課題を発見し解決するために必要な「思考力・判断力・表現力」「他者と協働する力」「自ら主体的に学び続ける力」

☆ 豊かな人間性、社会性、リーダーシップ、社会の発展に貢献する力

2 カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

◎ 「主体的な意志のある自立した『個』」を構成する資質・能力（上記1の☆）を育成するための教育課程上の重点は、次のとおりです。

○ 生徒の「高い目標」設定と目標実現に向けた努力の貫徹を支援する「文理両道」の視点による教育課程の編成と実施

● 2学年からの文理分けによりそれぞれの進路希望に応じるとともに、文系用理系科目、理系用文系科目を適切に配置

● 未来社会の複雑な問題を解き明かすための、文系・理系に特化しない多角的思考を促す教育課程の実施

○ 「主体的・対話的で深い学び」の実践

● 「本時の目標」に照らした授業内容のまとめとなる言語活動等の実施

● 「インプットとアウトプット」「個別学習と協働学習」の組み合わせによる思考の深化、知識の定着

● 情報活用による思考・判断・表現の促進

○ 生田流「文武両道」の推進

● あらゆる教科外活動（クラス活動、学校行事、部活動等）を「武」と位置付けて推進

○ 県立高校指定校事業の推進

● 理数教育推進校（令和4～6年度指定）として、文理両道の視点で理数教育を推進

● ICT利活用授業研究推進校（平成28～令和3年度指定）としての実践を継続・発展

3 アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

◎ 「主体的な意志のある自立した『個』」を確立し、他者と協力して、様々な課題を解決しようとする生徒を求めています。

☆ 「高い目標」を持ち、その実現に向けた努力を通して、自らの能力を高めようとする生徒

☆ 全教科・科目の学習活動とあらゆる教科外活動を通して、自らの能力を高めようとする生徒

☆ 「自ら主体的に学び続ける」ことを通して、自らの能力を高めようとする生徒

※ アドミッション・ポリシーについては令和5年度入学者選抜からの運用となります。